

2021年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2020年12月14日

上場会社名 株式会社ツクルバ 上場取引所 東  
 コード番号 2978 URL https://tsukuruba.com/  
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 村上浩輝  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 小池良平 (TEL) 03-4400-2946  
 四半期報告書提出予定日 2020年12月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第1四半期の業績(2020年8月1日~2020年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第1四半期	371	△18.1	△45	-	△44	-	△53	-
2020年7月期第1四半期	453	-	24	-	24	-	18	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第1四半期	△5.62	-
2020年7月期第1四半期	2.01	1.78

1. 2021年7月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第1四半期	3,178	1,023	32.2
2020年7月期	2,162	1,074	49.6

(参考) 自己資本 2021年7月期第1四半期 1,023百万円 2020年7月期 1,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年7月期	-	-	-	-	-
2021年7月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年7月期の業績予想(2020年8月1日~2021年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,472	△14.3	△563	-	△573	-	△587	-	△62.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年7月期1Q	9,821,200株	2020年7月期	9,799,700株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年7月期1Q	335,600株	2020年7月期	335,600株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年7月期1Q	9,485,133株	2020年7月期1Q	8,996,100株
------------	------------	------------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会について)

当社は、2020年12月14日(月)に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料はTDnetで本日開示するとともに、当社のウェブサイトにも掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (1) 業績の状況

当第1四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による個人消費の低迷や経済活動の停滞により、国内外の景気や経済は先行き不透明な状況が続いております。緊急事態宣言解除後の政府の各種政策により、生産や消費活動の持ち直しの兆しが見られたものの、同感染症の感染再拡大の懸念などもあり、先行きの不透明感が増してきている状況となっております。

不動産市場においては、マンション及び戸建住宅用地の高騰と人手不足等の要因による建築費の高騰と高止まりの状態が続いており、あわせて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による個人所得の減少や雇用環境の悪化による消費者マインドの低下など、予断を許さない状況にあります。

このような経済環境のもと、当社は、主力事業であるcowcamo（カウカモ）事業のサービス改善及び組織体制の強化による事業規模拡大、システム開発への投資などの施策を中心に取り組んでまいりました。この結果、当第1四半期累計期間の売上高は371,031千円（前年同期比18.1%減）、営業損失は45,480千円（前年同期は営業利益24,966千円）、経常損失は44,207千円（前年同期は経常利益24,605千円）、四半期純損失は53,339千円（前年同期は四半期純利益18,083千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

当第1四半期会計期間より、従来の「シェアードワークプレイス事業」から「不動産企画デザイン事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

#### ① cowcamo（カウカモ）事業

当セグメントにおきましては、主にリノベーション住宅のオンライン流通プラットフォームcowcamoの運営を通じて、リノベーション住宅の販売を行っております。当事業に係る外部環境は、新築マンション価格の高止まりを受けた中古マンション流通の拡大及びリノベーションに対する顧客認知の高まりにより、リノベーションマンション流通市場は拡大基調にあります。

このような環境のもと、事業のさらなる成長に向け、プロダクトの機能改善やオンラインを中心とした広告活動、物件案内を行う営業人員の教育、業務システムの開発などに取り組んでまいりました。

この結果、売上高は276,089千円（前年同期比28.6%減）、セグメント利益は52,142千円（前年同期比63.0%減）となりました。

#### ② 不動産企画デザイン事業

当セグメントにおきましては、主にオフィス設計を中心とした設計・空間プロデュースの受託事業並びにコワーキングスペース・ワークプレイスレンタルサービスの運営事業から構成されております。当事業に係る外部環境は、働き方の多様化やそれに基づく都心部におけるオフィスの移転、分散、縮小の動きがみられ、当セグメントに対しては需要の拡大がみられました。

この結果、売上高は94,942千円（前年同期比42.4%増）、セグメント利益は1,931千円（前年同期比57.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期会計期間末の資産合計は3,178,750千円となり、前事業年度末と比較して1,016,379千円の増加となりました。これは主に、社債、転換社債型新株予約権付社債の発行等により現金及び預金が972,256千円増加したこと等によるものです。

#### (負債の部)

当第1四半期会計期間末の負債合計は2,155,227千円となり、前事業年度末と比較して1,067,665千円の増加となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金がそれぞれ3,963千円、127,399千円増加

し、1年内償還予定の社債及び社債がそれぞれ40,000千円、140,000千円増加、転換社債型新株予約権付社債が700,000千円増加したこと等によるものです。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は1,023,522千円となり、前事業年度末と比較して51,285千円の減少となりました。これは主に、四半期純損失53,339千円の計上により利益剰余金が53,339千円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期におきましては、プラットフォーム流通総額(PF GMV)の成長の継続を見込んでおりますが、スポットでの法人取引収益の減少や仕入再販取引による売上高を織り込んでいないことなどが減収要因となり、売上高は前事業年度比14.3%のマイナス、売上総利益は前事業年度比3.6%のプラスを見込んでおります。ただし、買主の要望等による仕入再販に起因する売上が発生する可能性があります。

また、当期におきましては、cowcamo(カウカモ)事業におけるユーザー基盤の着実な成長及びサプライサイドにおける事業機会の拡大という現状を踏まえ、収益機会を拡大し、プラットフォーム価値を高めていくことが当社の企業価値向上にとって重要であると考えております。かかる考え方にに基づき、サービスアップデート、サプライサイド強化を可能とする人材獲得のための投資を成長に向けて柔軟に行う方針です。かかる成長投資により、当期の各段階損益は赤字を見込んでおります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,613,625	2,585,881
売掛金	20,847	28,409
仕掛品	3,161	-
その他	22,754	29,826
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,660,089	2,643,818
固定資産		
有形固定資産	380,880	399,022
無形固定資産		
ソフトウェア	-	27,740
無形固定資産合計	-	27,740
投資その他の資産		
敷金及び保証金	101,916	88,929
その他	19,485	19,239
投資その他の資産合計	121,401	108,168
固定資産合計	502,281	534,932
資産合計	2,162,370	3,178,750

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内償還予定の社債	40,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	115,407	119,370
未払金	83,371	106,054
未払法人税等	7,788	-
賞与引当金	-	17,700
その他	58,998	82,446
流動負債合計	305,565	405,571
固定負債		
社債	160,000	300,000
転換社債型新株予約権付社債	-	700,000
長期借入金	602,799	730,198
その他	19,198	19,458
固定負債合計	781,997	1,749,656
負債合計	1,087,562	2,155,227
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	610,183	611,848
資本剰余金	1,322,777	1,324,442
利益剰余金	△797,006	△850,346
自己株式	△62,421	△62,421
株主資本合計	1,073,531	1,023,522
新株予約権	1,276	-
純資産合計	1,074,807	1,023,522
負債純資産合計	2,162,370	3,178,750

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年8月1日 至2019年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年8月1日 至2020年10月31日)
売上高	453,237	371,031
売上原価	86,318	68,296
売上総利益	366,919	302,735
販売費及び一般管理費	341,952	348,216
営業利益又は営業損失(△)	24,966	△45,480
営業外収益		
受取利息	1	7
為替差益	37	-
助成金収入	-	13,614
その他	122	87
営業外収益合計	162	13,709
営業外費用		
支払利息	476	1,659
社債利息	-	133
社債発行費	-	10,017
支払手数料	-	579
その他	47	46
営業外費用合計	523	12,435
経常利益又は経常損失(△)	24,605	△44,207
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1,276
固定資産売却益	-	961
特別利益合計	-	2,237
特別損失		
出資金清算損	-	3,095
移転関連費用	-	8,100
特別損失合計	-	11,195
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	24,605	△53,166
法人税、住民税及び事業税	2,690	173
法人税等調整額	3,831	-
法人税等合計	6,522	173
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,083	△53,339

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	cowcamo (カウカモ) 事業	不動産企画デザイ ン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	386,558	66,678	453,237	—	453,237
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	386,558	66,678	453,237	—	453,237
セグメント利益又は損失(△)	140,873	4,523	145,397	△120,430	24,966

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期累計期間(自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	cowcamo (カウカモ) 事業	不動産企画デザイ ン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	276,089	94,942	371,031	—	371,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	276,089	94,942	371,031	—	371,031
セグメント利益又は損失(△)	52,142	1,931	54,074	△99,554	△45,480

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期会計期間より、従来の「シェアードワークプレイス事業」から「不動産企画デザイン事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

また、前第1四半期累計期間のセグメントの名称は、当第1四半期累計期間のセグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。